キャラクター名
躑躅森 蜜姫（ツツジモリ ハニィ）2

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ソラリス	ワークス	ヤクザ	カヴァー	ヘルス嬢
オプショナル		年齢	19	性別	女
覚醒	感染	衝動	飢餓	初期侵食率	28 %
出自	父親不在	経験	危険な仕事	邂逅	慕情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	0	0	1			1
精神	2	0	0			2
社会	6	0	0			6

HP	24
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ	5		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：	2		芸術：			知識：			情報：裏社会	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
メモリダイバー	P	N		
R担八課	P 親近感	N 恐怖		
ストレングス	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
オーバードーズ	2	4	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱ	-	-	-	100↑	
効果：	組み合わせたｴﾌｪｸﾄ全てのレベルを＋2 ｼﾅLv回							
女王の降臨	2	5	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	自動	ピュア	
効果：	ｾｯﾄｱｯﾌﾟでﾒｼﾞｬｰ自動のｴﾌｪｸﾄを使えるｼﾅLv回							
戦乙女の導き	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	至近	単体	自動	-	
効果：	ﾒｼﾞｬｰのﾀﾞｲｽ+LV 攻撃力+5							
狂戦士	4	5	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	自動	80↑	
効果：	C値-1ﾀﾞｲｽ＋[LV×2]個							
さらなる力	1	5	ﾒｼﾞｬｰ	至近	単体	20	80↑	
効果：	再行動1R1回							
コンセ：ソラリス	2	2						
効果：	C値-Lv							
快楽の香気	★	-	メジャー	至近	ｴｷｽﾄﾗ	自動	-	
効果：	めっちゃいい匂いがする							
元気の水	★	-	メジャー	至近	単体	指導	-	
効果：	疲れが取れる水()を作れる							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

『オズマ』のメンバーで風俗嬢。

彼女を産んだ女は母ではなく女だった。女には常に男の影があった。父親が誰かはわからない。
女は子にほとんど関心がなく時々思い出して餌を与える程度だった。男が来る時は押し入れに押し込められ声を出すことを禁じた。男が来なくても押し入れに押し込められた。ペットシーツの敷かれた押し入れの下段が彼女の家だった。幸い女は爪が痛むからと暴力を振るうことはなかった。

能力が覚醒したのは飢えていた彼女は女の目を盗み外へ出た時である。
「お腹が空いた」「やさしくして」「無視しないで」「ここでも無視されたらどうしよう」「わたしを見て」
そんな願いが反映されたのか彼女の香りは無意識に他人を集め、他人は彼女に糧を与えた。
それからは物乞いで日々の糧を得るようになる。
物乞いを始めて、骨と皮だった少女はふっくらした子供らしい肉付きを得ることになる。
その頃には母である女に期待することをやめていた彼女の能力が女に使われることはなかった。
そして、女よりも食べ物をくれた他人への好意の方が大きい。
母親のことは良い人でないだけで悪い人だとは思っていないし恨んでもいない。無関心に返すのは無関心である。

いつの間にか覚醒していた自分の力に気づいた少女は能力で作り出した「疲れが取れる良い匂いの水」を売るようになるが、それが原因でヤクザに拉致されそうになる。そこを助けたのが『オズマ』の初代リーダーであり、それをきっかけにオズマに加入する。
学校にほとんど行っていなかったため文字の読み書き計算はオズマの人間から教わった。漢字と割り算は苦手である。
ストレングスや安藤とはそれなりに長い付き合いで子供の頃から『スーちゃん』『アンちゃん』と呼んで懐いていて、オズマとそのメンバーのことを何より大切に思っている。
たまに安藤と組んで怪しい商売を初めてはストレングスに叱られている。
他人をすぐ信用するのでオズマで保護されていなかったら酷いことになっていたと思われる。